

- 問1 人口の多い選挙区と少ない選挙区で、議員1人あたりの有権者数に不均衡がある状態が反するとされる憲法の原則を何という？
- 問2 選挙において、有権者が候補者や政党を直接投票によって選ぶ原則を何という？
- 問3 財産や身分に関係なく、一定年齢以上のすべての国民に選挙権を認める原則を何という？
- 問4 与党に対して、政権を担当せず、政府の政策を監視や批判を行う政党を何という？
- 問5 日本国憲法で定められた、投票内容を他人から知られないようにする選挙の原則を何という？
- 問6 国民が投票によって、自分たちの政治の代表者を直接選ぶ仕組みを何という？
- 問7 国会において、政府の政策を厳しく追及し、いつでも交代できる準備をする体制を可能にする、政権が入れ替わることを何という？
- 問8 各選挙区において、一人の議員が代表する有権者数に偏りがある状態を何という？
- 問9 各政党の得票数に応じて議席を割り当てる、参議院などで採用されている選挙制度を何という？
- 問10 一票の格差を解消するために、選挙区の区割りや議員の定数を見直すことを何という？
- 問11 衆議院選挙などで、小選挙区制と組み合わせられている、得票率に応じて議席を配分する制度を何という？
- 問12 選挙において、自分が誰に投票したかを他人に知られないようにする権利や仕組みを何という？
- 問13 小選挙区制のもとで、政党間で政権が入れ替わることを何という？
- 問14 小選挙区制において、1つの選挙区から選ばれる当選者の人数を何という？
- 問15 小選挙区比例代表並立制において、候補者が小選挙区と比例代表の両方に同時に立候補できる仕組みを何という？
- 問16 投票用紙に名前を記載せず、自ら記入させることで公正な投票を促す方式を何という？
- 問17 過去の日本において、高い税金を納める者のみに選挙権を与えるなど、条件を設けていた選挙を何という？
- 問18 有権者が選んだ代表者がさらに別の代表者を選ぶ選挙方式を何という？
- 問19 財産や性別に関わらず、18歳以上のすべての国民に投票権が与えられる選挙の原則を何という？
- 問20 日本国憲法において、国の政治のあり方を最終的に決定する権限は国民にあるという考え方を何という？
- 問21 政党が選挙において、政権を獲得した際に実行する具体的な政策を公約としてまとめたものを何という？

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え</b> <b>法の下の平等</b>	憲法14条は「法の下での平等」を規定しており、国会議員1人あたりの有権者数に大きな格差があることは、投票価値の平等に反し、この憲法原則を侵害しているとみなされます。
問2	<b>答え</b> <b>直接選挙</b>	有権者が自分たちの代表を選挙で直接選ぶ仕組みを指します。これに対して、選挙人が選んだ代表がさらに別の代表を選ぶ間接選挙とは区別されます。現代日本の国政選挙では、この直接選挙の原則が守られています。
問3	<b>答え</b> <b>普通選挙</b>	現代民主主義における基本ルールであり、日本では1925年の普通選挙法施行により、満25歳以上の男子に選挙権が与えられたのが始まりです。その後、現在は満18歳以上のすべての男女に選挙権が認められています。
問4	<b>答え</b> <b>野党</b>	野党は内閣を組織していない政党の総称です。主な役割は、国会での質疑や法案審議を通じて、政府の予算案や政策の矛盾点を厳しく追及することです。また、国民に対して別の政策案を提示することで、将来の政権交代に向けた準備を行う役割も担っています。
問5	<b>答え</b> <b>秘密選挙</b>	秘密選挙は、選挙人が誰に投票したかを外部から特定されないようにする制度です。投票所での工夫や厳格なルールによって投票の秘密が保持され、有権者は外部の干渉を恐れることなく自分の信じる候補者に投票できます。
問6	<b>答え</b> <b>直接選挙</b>	直接選挙は、有権者が誰に投票するかを直接決め、代表者を決定する制度です。日本の国会議員選挙や地方自治体の首長選などはこの仕組みで行われています。
問7	<b>答え</b> <b>政権交代</b>	政権交代とは、選挙の結果、今まで与党だった政党が野党になり、代わりに野党だった政党が与党となって新しい内閣を組織することです。これにより、政治の行き詰まりを解消したり、新しい政策を実行したりすることが可能になります。
問8	<b>答え</b> <b>一票の格差</b>	ある選挙区では少ない票数で当選できる一方、別の選挙区では多くの票が必要になるなど、投票した一票が持つ価値に不平等が生じることを「一票の格差」と呼びます。これは平等選挙の原則に反する恐れがあります。
問9	<b>答え</b> <b>比例代表制</b>	投票の際、候補者個人ではなく政党名（または候補者名）に投票し、その得票比率に応じて議席を政党に配分します。これにより、少数意見を持つ政党も国会に議席を持ちやすくなります。
問10	<b>答え</b> <b>定数は正</b>	定数は正は、人口に応じて選挙区の議員定数を変更したり、区割りや再編したりすることで、一人ひとりの一票の価値を可能な限り平等にするための措置です。
問11	<b>答え</b> <b>比例代表制</b>	比例代表制では、有権者は「政党名」に投票し、その得票率に応じて各政党に議席が割り振られます。これにより、多様な意見や考え方が議会に反映されやすくなります。
問12	<b>答え</b> <b>投票の秘密</b>	投票の秘密は、憲法で保障された重要な権利の一つです。有権者は自分が誰に投票したかを他人に言う必要はなく、また他人もそれを無理やり聞き出すことはできません。これにより、有権者は組織からの圧力やしがらみを気にせず、自分の信念に基づいて投票することができます。
問13	<b>答え</b> <b>政権交代</b>	政権交代は、選挙によって野党が勝利し、新たに政権を担うようになる現象です。これにより、国民は政策の異なる政党同士を比較・選択し、政治の方向性を自分たちの意思で変えることができます。
問14	<b>答え</b> <b>1人</b>	小選挙区制では、1つの選挙区から当選するのは必ず1人です。得票数が最も多い候補者が当選するため、多数の意見が議席に反映される一方で、落選者の票（死票）が多くなる傾向があります。
問15	<b>答え</b> <b>重複立候補</b>	候補者は、小選挙区の候補者として立候補しつつ、同じ政党の比例代表名簿にも登録されることができます。小選挙区で惜敗しても、比例代表で復活当選できる可能性があるのが大きな特徴です。
問16	<b>答え</b> <b>自書式投票</b>	投票所で配布される投票用紙に、有権者が直接候補者名や政党名を記入する方式です。これにより、誰が誰に投票したかが外部から操作されにくくなり、個人の意思がそのまま票に反映されるようになります。
問17	<b>答え</b> <b>制限選挙</b>	制限選挙とは、性別、財産、教養などの基準を設け、それらを満たした一部の人のみに投票権を認める制度です。しかし、これでは国民全体を代表する政治が行えないとの批判が高まりました。
問18	<b>答え</b> <b>間接選挙</b>	直接選挙とは対照的に、有権者は選挙人や代表者を選出し、その選ばれた者たちが最終的な決定権を行使します。現代日本の首相指名選挙がこの仕組みにあたり、国会議員が国民を代表して内閣総理大臣を指名します。
問19	<b>答え</b> <b>普通選挙</b>	普通選挙は、こうした経済的な条件や性別による不平等を撤廃し、すべての国民が政治に参加できるようにする原則です。日本では1925年に男子普通選挙が実現し、戦後の日本国憲法下で現在の形が確立されました。
問20	<b>答え</b> <b>国民主権</b>	国民主権とは、国の政治のあり方を決める最高権力が国民にあるという考え方です。国民が選挙を通じて代表を選び、その代表者が政治を行うという議会制民主主義によって実現されています。
問21	<b>答え</b> <b>マニフェスト</b>	マニフェストとは、政権交代可能な政党が、具体的な数値目標や財源、達成期限を明記して提示する「政権公約」のことです。有権者はこれを見て、どの党の政策が自身の生活に役立つかを判断します。